

令和5年度地域学校協働活動研修会（後期）

兼 人づくりまちづくり研修会②

- 1 目的 おかやま子ども応援事業等の教育支援活動を効果的に進めるために、地域連携担当教職員、地域学校協働活動推進員・地域コーディネーター、学校支援ボランティア、放課後・土曜日等支援関係者、家庭教育支援関係者、公民館関係者、行政関係者等の資質の向上を図る。
- 2 主催 岡山県教育委員会・おかやま子ども応援推進委員会
- 3 日時 令和5年11月13日（月）13:30～16:15
- 4 会場 津山リージョンセンター
- 5 参加者 地域連携担当教職員、地域学校協働活動推進員・地域コーディネーター、学校支援ボランティア、放課後・土曜日等支援関係者、家庭教育支援関係者、公民館関係者、学校・家庭・地域の連携・協働に興味関心のある方、行政関係者等
- 6 日程
- 13:00～13:30 受付
- 13:30～13:35 開会行事
- 13:35～15:35 【講演・ワークショップ】
- 「地域と学校の連携・協働のススメ
～楽しむことから始まる『学校を核とした地域づくり』～」
講師 岡山県教育委員会 信州型CSアドバイザー
地域コーディネーター 伴 美佐子 氏
- 15:35～15:45 休憩
- 15:45～16:10 【情報交換】
「これからの地域と学校の連携・協働の充実に向けて」
- 16:10～16:15 閉会行事

【講演・ワークショップ】

- 1 子どもと向き合おう
子ども達を取り巻く環境
①進む少子高齢化
②地域や家庭の状況
③変わる学力観 - 教育改革の歩み -
- 2 学校で学び合おう
コミュニティスクールの実践から

- 3 地域ぐるみで育もう
演習「CSクロスロード」に挑戦
- 4 皆さんといっしょにしていきたいこと



【講師】 伴 美佐子 氏



《感想》

- ・地域と学校が、子ども達のことについて、本音でしっかり話をしていかなければいけないと思いました。
- ・地域の大人が子ども達に関わることは、とても大切なことだと再認識できました。子育ては価値のあること、人を育てることは世界で一番クリエイティブな仕事ということをもっと発信したいと思いました。
- ・大人の学びが子どもの学びにつながっているので、地域の大人の連携の必要性を感じました。学校運営協議会委員にあて職を入れられない等、CS立ち上げに向けて具体例を知ることができました。
- ・「大人が本気になる」子ども達の声を聞き、地域や家庭と連携しながら「やってみたい」を実現していくこと。失敗しながらも頑張る大人の姿を子どもに見せることが大切だと思いました。
- ・『CSクロスロード』初めてこのような手法を知りました。「正解はない」ということで、他者との意見交換をとおして、様々な視点の幅広い考え方があってよいということを感じました。また、学校運営協議会に、児童・生徒を巻き込み、子ども達の意見を大切にしながら進めていきたいと思いました。